

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和 4 年 2 月 1 日
室蘭開発建設部 広報官

報道機関各位

表彰団体決定！「わが村は美しく－北海道」運動 ～第10回コンクールの優秀賞13団体、奨励賞20団体が決定～

北海道開発局は、「わが村は美しく－北海道」運動 第10回コンクールを開催し、**全道75団体（60市町村）の応募の中から**選考の結果、農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、**優秀賞13団体、奨励賞20団体を表彰することを決定**しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村が、より「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年より、2年に一度開催しています。

今回は、全道10のブロックごとの審査により、各ブロックから選定された団体（優秀賞13団体、奨励賞20団体）を表彰します。

なお、今回表彰された優秀賞の中から、来年度（令和4年度）の大賞審査により、第10回コンクールの大賞を決定します。

室蘭開発建設部管内からは、当コンクールに5件の応募があり、優秀賞1団体及び奨励賞1団体の合計2団体の表彰が決定しました。（別紙1～3）

表彰授与式は、当建設部管内で実施します。

なお、日時及び場所については、決まり次第、別途、お知らせします。

また、共催団体である「NPO法人わが村は美しく－北海道ネットワーク」が決定したNPO特別賞についても、本日、NPOより公表されます。

【「わが村は美しく－北海道」運動とは】

「わが村は美しく－北海道」運動とは、北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていかう、との思いから生まれた運動です。「地域に住む方々が主体となった地域づくり活動の普及により、北海道の農山漁村全体が豊かになり、活性化をもたらす」ことを基本の考え方とし、地域で活動する団体などを支援しています。

「わが村は美しく－北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html



【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 電話 0143-25-7049

土地改良情報対策官 前田 和男（内線 327）

室蘭開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>

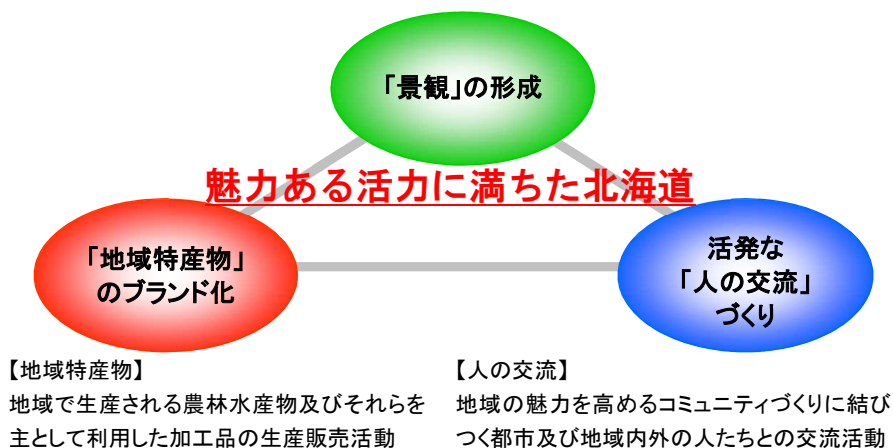


「わが村は美しくー北海道」運動とは

Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動



【参考】第9回コンクール大賞受賞団体

特定非営利活動法人 サトニクラス【月形町】
農業と福祉のまちで「里に暮らす」農福連携に取り組んでいます



北海道真狩高等学校【真狩村】
「村をもっと元気に！」野菜スイーツで高校生が取り組みます

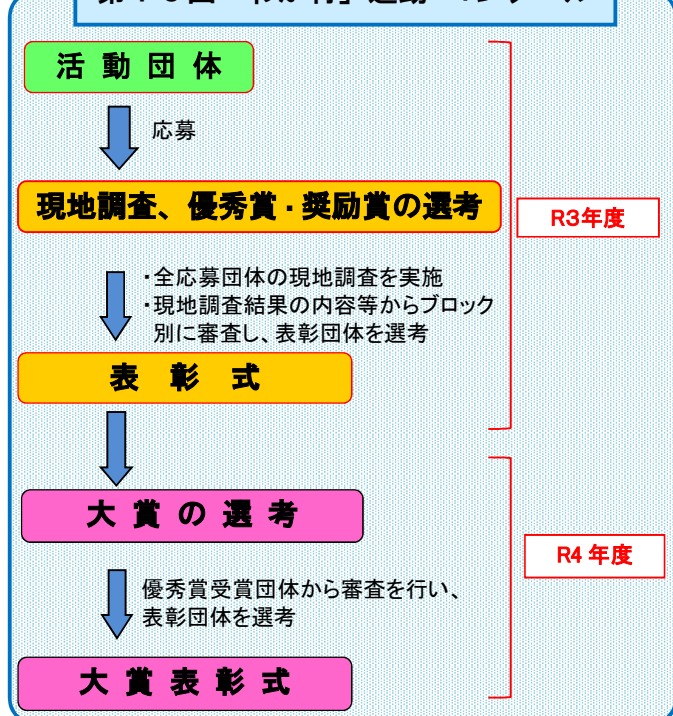


- 参加しようー中心となるのは、地域に住む人々 「地域の資源」を見つけよう
- 広げようー活動の輪を大きく、自由に 地域の個性を競い合い高め合い
- 伝えようー北海道の「いいもの」を、もっと外へ 地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

第10回「わが村」運動 コンクール



多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ne/nou_sln/ud49g70000000emhm.html
→活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信
→活動団体への情報提供
→活動団体の最新情報を発信
- JR北海道の車内誌
→「The JR Hokkaido」への掲載
(JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR
→地域イベントに参加し
団体活動を紹介
- 札幌「チ・カ・ホ」でPR
→デジタルサイネージで放映
(札幌市の協力)
- facebook(フェイスブック)の取組 <https://www.facebook.com/wagamura>
→活動団体の最新情報を広く発信



【別紙 2】



令和 4 年 2 月 1 日
北海道開発局

「わが村は美しくー北海道」運動第 10 回コンクールの表彰団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成 13 年より 2 年に一度コンクールを開催しており、今回で 10 回目となります。

第 10 回コンクールには全道から 75 件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞 13 団体、奨励賞 20 団体を表彰することとしました。

表彰式は、本日以降、随時、表彰団体の応募先である各開発建設部ごとに行う予定です。詳細については、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問合せください。

○第 10 回コンクールの概要について

1. コンクールの応募状況等について

(1) 応募件数

全道 60 市町村から 75 件（団体）の応募

(2) 審査経過

- ▶令和 2 年 12 月～令和 3 年 6 月：募集
- ▶令和 3 年 7 月～11 月：全道 10 ブロック※での現地調査
(ブロック審査委員会による全応募団体の調査)
- ▶令和 3 年 7 月～12 月：ブロック審査委員会での審査
(現地調査の結果から表彰団体を選考)
※各開発建設部の所管を 1 ブロックとしている。

2. 表彰団体について

(1) 優秀賞※（北海道開発局長表彰）[13 団体]

※優秀賞：ブロック審査により、活動が優秀と認められた団体を選定。

- ▶ 農猿（南幌町）
- ▶ そらち南さつまいもクラブ（由仁町・栗山町）
- ▶ 奥尻高等学校オクシリイノベーション事業部×奥尻ワイナリー（奥尻町）
- ▶ ベジタブルワークス株式会社（真狩町）
- ▶ 富良野市立樹海中学校（富良野市）
- ▶ けんぶちキヌア生産普及組合（剣淵町）
- ▶ 北のなのはな会（安平町）
- ▶ 有限会社 仁成ファーム（釧路市）
- ▶ 北海道帯広農業高等学校 食品科学科 地域資源活用分会（帯広市）
- ▶ ほんべつ豆まかナイト実行委員会（本別町）
- ▶ えづらファーム（遠軽町）
- ▶ 北海道遠別農業高等学校（遠別町）
- ▶ 稚内農業協同組合 稚内牛乳（稚内市）

（受賞団体名は順不同です）

【別紙 2】

(2) 奨励賞※（各開発建設部長表彰）〔20団体〕

※奨励賞：ブロック審査により、将来性や継続性から奨励すると認められた団体を選定。

◇札幌ブロック〔2団体〕

- ・北海道当別高校 ボランティア局（当別町）
- ・南区農園ガイドの会（札幌市）

◇函館ブロック〔4団体〕

- ・やくも元気村（八雲町）
- ・七飯の食を考える会（七飯町）
- ・福島町千軒地域活性化実行委員会（福島町）
- ・やまの会（せたな町）

◇小樽ブロック〔1団体〕

- ・北海道倶知安農業高等学校（日本酒プロジェクト）（倶知安町）

◇旭川ブロック〔4団体〕

- ・北海道旭川農業高等学校食品科学科 あったか旭川まん研究グループ（旭川市）
- ・特定非営利活動法人 もりねっと北海道（旭川市）
- ・JAたいせつ田んぼアート実行委員会（旭川市）
- ・当麻土地改良区（当麻町）

◇室蘭ブロック〔1団体〕

- ・沙流太ほおずき絆の会（日高町）

◇釧路ブロック〔2団体〕

- ・北海道標茶高等学校 牛乳班（標茶町）
- ・北海道厚岸翔洋高等学校 海洋資源科 アナジャコチーム（厚岸町）

◇帯広ブロック〔2団体〕

- ・北海道士幌高等学校 乳加工専攻班（士幌町）
- ・メムロピーナッツ（芽室町）

◇網走ブロック〔2団体〕

- ・北海道美幌高等学校 環境改善班（美幌町）
- ・特定非営利活動法人 西興部村猟区管理協会（西興部村）

◇留萌ブロック〔1団体〕

- ・上田ファーム株式会社（苫前町）

◇稚内ブロック〔1団体〕

- ・就労継続支援B型事業所稚内市北光園（稚内市）

（受賞団体名は順不同です）

【別紙 2】

【参考】

(3) NPO特別賞※（「NPO法人わが村は美しくー北海道ネットワーク」理事長表彰） [6団体]

※NPO特別賞：総合的には評価されなくても、特筆すべき特徴を有する活動団体をNPOが選定。

- ◇札幌ブロック [1団体]
 - ・北広島市水稻赤毛種保存会（北広島市）
- ◇函館ブロック [1団体]
 - ・えさし水土里の会（江差町）
- ◇小樽ブロック [1団体]
 - ・黒松内フットパスクラブ（黒松内町）
- ◇旭川ブロック [1団体]
 - ・ピリカ株式会社（比布町）
- ◇釧路ブロック [1団体]
 - ・別海町女性農業士会（別海町）
- ◇留萌ブロック [1団体]
 - ・フレッシュ市場「花菜夢」（遠別町）

（受賞団体名は順不同です）



広大な菜の花畑と菜の花畑から採取された「はちみつ」と「なたね油」

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

北のなのはな会

【安平町】

こだわりの地産地消活動

はじめは？

平成19年にバイオ燃料に興味を持った町内の農家数名が集まり勉強会を発足し、再生可能エネルギー資源、観光、特産品として「菜の花」が新たな可能性を秘めていると考え、平成21年に栽培を開始、研究を進めました。

その後、平成22年に「北のなのはな会」を立ち上げ、「あびら菜の花はちみつ」や「畑のしずく（なたねサラダ油）」の商品化を手掛け、現在は「サボン・デ・コルザ（はちみつ入り菜の花石鹸）」等のコスメの発売も手掛けています。

おもな活動

現在の「北のなのはな会」の活動としては、菜の花関連特産品の開発、菜の花残渣を用いたバイオマス燃料（バイオコークス）利活用の研究、安平町の新たな観光地化を主な取組みとし、食育教育の推進、菜の花関連団体との交流・情報交換を行っております。

また多くの方に安平町の魅力を知ってもらうため、平成29年からあびら観光協会の主催により「菜の花さんぽ」が開催されています。「北のなのはな会」も後援として関わっており、安平町を代表する初夏の景観を広く伝えるために一役買っています。



地域イベント「菜の花さんぽ」の様子

ここが自慢

【菜の花による地域振興】

地産地消の推進、地元産にこだわり、生産された食材を地域の方に食べていただき、知ってもらいたい思いから、地元小中学校や社会福祉法人などにも商品を提供し、消費拡大へとつなげると共に地域振興のため、各種PR活動を展開しています。

また、あびら観光協会と協力し、菜の花が満開となる時期に合わせて「フォトコンテスト」や「菜の花さんぽ」を開催し、多くの観光客が訪れるようになりました。

今後も新たな地域特産品の製作・販売や再生可能エネルギーとしての利活用の研究に取り組むとともに、安平町の初夏の風物詩として定着し観光資源となることを目指す取組を進めています。



菜の花関連商品

連絡先

代 表 者 名 : 小西 克典さん／設立：2010年／会員：2名

住 所 : 勇払郡安平町追分美園534番地

電 話 番 号 : 0145-25-2391

F A X : 0145-25-2391

E - m a i l : kitanonohanakai@ybb.ne.jp

U R L : <http://k-nanohana.com/>



食用ほおずきを加工したドライほおずき

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

沙流太ほおずき絆の会

【日高町】

ほおずきによる地域のきずなと元気の再生

はじめは？

平成24年に、食用ほおずきという新規作物を取り入れ、栽培・加工・販売などを地域の人たちや学校などと連携して取り組むことにより、地域コミュニティの維持、活性化による町おこしを目的として設立しました。

「ほおずきによる地域のきずなと元気の再生」をキャッチフレーズに活動を進めてきました。

取組に賛同した町や地元の高校と連携することで町ぐるみの取組に発展しました。

おもな活動

町の特産品に育てるため「フルーツほおずき」と名付け、知名度向上及び販路拡大を図る等、地域の元気再生に向けて活動しています。

栽培管理などを地元の高校と連携して実施しているとともに、加工品の試作・試験販売も高校と共同で行っており、高校生にとっても貴重な体験学習の場となっています。また、新たな加工品の商品開発を道内企業に委託し取り組んでいます。

今後は会員以外の農業者にも作付誘導を図り作付面積拡大により地域の活性化を図りたいと思っています。

高校生と連携しての栽培管理



ここが自慢

【特産品作りによる地域おこし】

本会では研究と栽培努力の結果、無農薬で栽培しています。みかんのようなフルーティな甘みに特徴的な酸味と風味が加わった、他の野菜や果物とは一味違った食物です。栽培品種「太陽の子」は甘みと風味があり、生食用の他、加工用としても優れています。別名「ゴールデンベリー」とも呼ばれスーパーフードの一つとして注目され豊富な栄養素が含まれており、札幌や首都圏のレストランへ販路を獲得した他、ふるさと納税の返礼品にも採用されています。

富川高校と連携した特産品作りによる地域おこしを行っています。

食用ほおずきは大人の背丈を超えるまでに成長し、秋の不思議な景観としても地域に広がりつつあります。



イベントでの販売とPR活動

連絡先

代表者名：金子 俊さん／設立：2012年／会員：12名

住所：沙流郡日高町富川東2丁目1-15

電話番号：01456-2-2475（数矢副会長）

FAX：01456-2-2475（数矢副会長）

E-mail：－

URL：－



自然豊かな農村環境で有機農産物を栽培

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

合同会社自然農業社

【壮瞥町】

農福連携による有機農業の実践

はじまりは？

壮瞥町にある「合同会社自然農業社」は、福祉経験を有する農業者夫婦によって、成人した障がい者が自立して働ける場を創出するため設立(S62年)された農業法人「合同会社農場たつか一む」(関連団体)から、平成27年に畑作部門を引継ぎ新たに障がい者の雇用を支援する就労継続支援A型事業所「合同会社自然農業社」として独立し現在に至ります。

おもな活動

有珠山・洞爺湖の近くにある農場で、ブッキーニやタマネギ、ニンニク、大根などの野菜及び豆類を有機農法で生産し、農福連携を実践しています。

熟成黒ニンニクや切干大根、乾燥ごぼう、乾燥玉ねぎの製造販売など6次産業化の取組で冬期間の作業を創出し、農産物加工販売を通年で行っています。

販路としてはコープさっぽろや生活クラブ生協などを經由し消費者へ安全・安心なものを届けているほか、インターネットでの直接販売にも取り組んでいます。また、昨年から切干大根を地元の給食センターで利用していただいています。



有機栽培した豆の脱穀の様子

ここが自慢

【美味しく安全・安心な農産物や加工品の生産】

自然農業社は障がいのある方の自立を支援し、障がいの種類を問わず多くの障がいを持つ方々を雇用していますが、多様な仕事がある農業分野では、それぞれの障がい特性に合った仕事を見つけやすく、利用者は自分の特性にあった仕事をやりがいを持って働いています。農福連携を推進することで、地域づくりと共に障がい者の働ける場所、居場所をさらに質量ともに拡大させていきたいと考えています。

農産物の有機JAS認証を取得し、農薬、化学肥料、除草剤は一切使用せず、自然の生態系を活かした農業を目指しています。生産された農産物や加工品は、美味しく安全・安心であると好評を頂いています。



有機栽培で生産された農産物の加工品

連絡先

代表者名：小田 大介さん／設立：2014年／会員：30名

住所：有珠郡壮瞥町字立香92番地

電話番号：0142-66-2141

FAX：0142-82-3254

E-mail：-

URL：<http://sizen-gricompany.com/>



壮瞥町



壮瞥アグリレッスンの様子

果樹の剪定木を活用した木炭



「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

北海道壮瞥高等学校

【壮瞥町】

異年齢交流の実施により、食育教育を生徒自ら企画・実践

はじめは？

本校は、胆振管内唯一の農業高校です。地域での行事や交流を通して地域に根ざした高校としての役割を果たすべく、日々取り組んでいるところです。平成26年に「地域農業科」に学科転換したことに合わせ、学校農場で取れた野菜や実習でつくった加工品などを販売するアンテナショップ「壮高ショップめぐみ」を開店し生徒が運営することによって、地域との交流がより一層図られています。また、「壮瞥アグリレッスン」と名付けた食育活動に取り組んでおり、生徒が壮瞥小学校の児童に農作物の栽培方法を教えるなど、農業と地域を結ぶ食育を通じて交流を図っています。

おもな活動

アンテナショップを校内に設置し、毎年6月から11月の月2回開店し、生徒は販売のための事前準備などを行った上、学校農場で栽培した草花、野菜、果実や野菜・果実を使用したジュース、パンなどの加工品を販売しながら地域との交流を図っています。また、異年齢(小学生)交流の実施により、食育教育を生徒自ら企画・実践し、児童と種まきや成長した苗の畑への定植、収穫作業、収穫したカボチャを利用した調理体験などを通じて、地域の活性化を図っています。



街の花壇整備

生徒が自ら育てた花苗で街中の花壇整備に取り組んだり、野菜苗・花苗の販売で、地域の景観活動と交流にも積極的に関わっています。

ここが自慢

【地域との結びつきで地域産業の課題解決に貢献】

JGAP(農業生産工程管理)認証のための審査では、生徒代表自ら対応し取り組んできた農場運営について説明を行い、無事認証を受けることができました。

また、地域産業である果樹農家の課題であるリンゴの剪定木を有効活用するため、生徒が発案してリンゴ木炭の商品化に成功しました。さらに地域企業と連携したリンゴ木炭を使ったコーヒー豆の焙煎商品を開発するなど、地域と高校が結びつくことで、地域産業の課題解決に貢献しています。

生産・加工・販売の6次(産業)化の取り組みにより、地産地消・食育・都市と農村の交流等の推進による魅力ある農村づくりでも役割を果たしています。



アンテナショップ「壮高ショップめぐみ」

連絡先

代表者名：山川直樹(教頭)さん／設立:1948年／会員70名

住所：有珠郡壮瞥町滝之町235-13

電話番号：0142-66-2456

FAX：0142-66-2636

E-mail：soukou@sobetsu.jp

URL：http://www.sobetsu.jp/soukou/



地域のこれからについての話し合いの様子

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

ニサナイ大地の会

【むかわ町】

若い世代が将来も地域を担っていける姿を目指す

はじめは？

農業の担い手対策が必要な地区などをモデル地域に選定して、5、10年後の地域農業について検討を重ねながら農業を核とした支え合う地域づくりを段階的に推進するという、町の「地域づくりモデル事業」に呼応したのがきっかけで発足しました。

はじめに会員みんなで話し合いを行い、地域が目指す未来予想図としてのニサナイビジョンを作成し、話し合いの中で前期（今すぐ）、中期（5年以内）、後期（将来）に分け、いまできることから取り組みを進めています。

おもな活動

まず地区内の環境美化から取り組んでおり、周辺清掃や花壇整備を始め、隣接する道道沿いの農地周辺の草刈りや清掃など地域の美化を進めています。直売所の位置を入れたニサナイマップを作成・配布することで地区のPRに取り組んでいます。地区内には、エゾフクロウが営巣しており、エゾフクロウを守るため巣箱を設置する取り組みも行っています。



ニサナイ会館前の花壇整備

計画策定は各層（経営主・女性・青年）で役割分担し話し合っています。地域でとれる農産物を使った加工品開発を目指しており、講師を招いての勉強会を行うなど加工品の製造、販売に向けた検討を行っています。

ここが自慢

【自然環境の復活を目指して】

「ニサナイ大地の会」では、ビジョンを作成し、地区環境美化をはじめとする活動により、今後、他の地域にも波及することを願い活動を展開しています。

景観・自然環境では、ニサナイ地区と隣接する道道沿い圃場周辺（河川敷地を含む約4km）の草刈、清掃の取組を実施しています。

ニサナイ会館（ニサナイ大地の会活動拠点）などの周辺清掃、花壇整備の取組を実施し環境美化に取り組むとともに、自然環境の復活を目指しエゾフクロウ（森の守り神）の巣箱を設置する取組を実施しています。



フクロウの木工品とエゾフクロウの巣箱設置の様子

連絡先

代表者名：中澤 浩さん／設立：2016年／会員：25名

住所：勇払郡むかわ町穂別451番地3

電話番号：0145-45-3306

FAX：0145-45-3310

E-mail：－

URL：－